

いわゆる脳卒中の後遺症として多いのが片麻痺です。右側脳が損傷されると左片麻痺、左側脳だと右片麻痺が現れます。左右の片麻痺をくらべると、一般に右片麻痺の方が障害は重いようです。これは、わが国では右利きの人が多く、日常生活場面での手の機能は主に右側に頼ることが多いことによると考えられます。

また、言語中枢が左脳半球にあるため、右片麻痺の方では失語症も現われ、コミュニケーションが著しく困難になります。

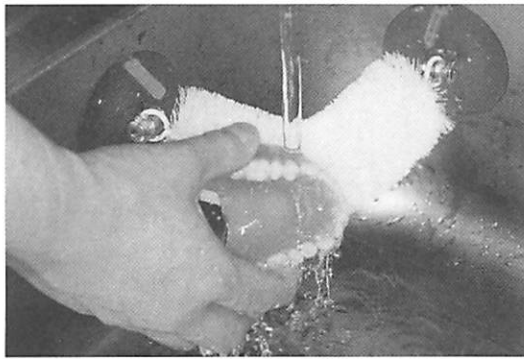
さて、口腔ケアのなかで片麻痺の方が年齢的にも一番苦労するのが、入れ歯の清掃です。歯みがきやうがいには片手でも何とかできるので残っている自分の歯や歯ぐきの手入れはできたとしても、入れ歯の清掃を片手するのは難しく、また介護者に頼むのともかく面倒ということも多いためです。このような

片手で入れ歯を洗う

脳卒中後の片麻痺の方へ

ると入れ歯を出し入れするたびに口の中も再び汚れてしまうことになるので、ブラシを固定して健側（麻痺のない側）の手指で入れ歯を洗う方法をお勧めします。また、麻痺側のリハビリのためにも、ブラシを固定して入れ歯を洗うことにより、手指の機能回復訓練にもなります。さらに軽度の

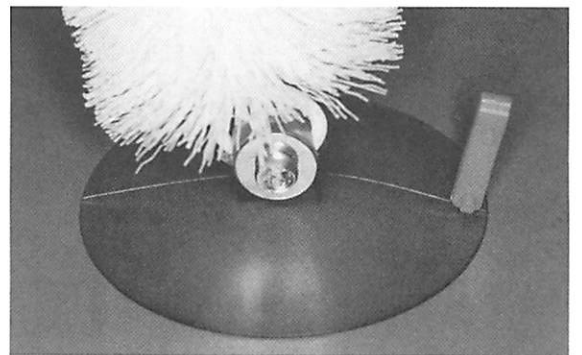
痴呆の方においては、日常生活に必要な清潔動作へのモチベーション（動機づけ）となり、細かい作業は集中力を高めることにもなります。以上のような片麻痺の方、要介護の高齢の方、痴呆の方のために、本人の自主性を伸ばし、指先のリハビリを兼ねた自立支援用の入れ



ステンレス流し台に横向きに設置し、ブラシ湾曲部に流水をあてて清掃する

歯清掃ブラシを紹介します。

使い方は極めて簡単で、まずブラシをU字型に折り曲げて、洗面台や流し台に吸盤を付着させます。方向は縦でも横でも斜めでも、入れ歯をこする得手の向きになるように設置して下さい。ただし、ブラシの湾曲部に流水があたるように、水道栓の動く範囲とブラシの位置を予めご確認ください。使用後、吸盤をはずす場合、ブ



使用後、吸盤をはずすためのノブで、これを少し引くだけで簡単にはずれる

ラシをつかんで引っぱっても絶対にはずれません。それを簡単にはずすために、両側の吸盤の外縁近くに約二センチのプラスチックのノブがついており、赤色で高齢の方にもわかりやすくなっています。この赤いノブをつまんで少し引くだけで、いとも簡単に吸盤がはずれます。

この自立支援用入れ歯ブラシについてのお問い合わせは左記まで。

徳島県歯科医師会

口腔保健センター内

老人保健施設等巡回歯科診療所

(0886) 311-3977